

マイクロフォーサーズシステム規格に GoPro が新たに賛同 GoPro 初のレンズ交換式シネマカメラ「MISSION 1 PRO ILS」が マイクロフォーサーズマウントを採用

OMデジタルソリューションズ株式会社^{※1} とパナソニック株式会社^{※2} は、2008 年に共同でマイクロフォーサーズシステム規格を発表し、以来、本規格の普及に努めてまいりました。

このたび、GoPro, Inc. (本社: 米国カリフォルニア州サンマテオ、以下「GoPro」) が 2026 年 8 月 26 日に同社初となるレンズ交換式カメラを発表するとともに、本規格に賛同しました。人々が体験を臨場感あふれる映像として記録・共有する方法を広げてきたGoProは、2026 年 8 月 26 日、マイクロフォーサーズマウントを採用した同社初のレンズ交換式シネマカメラ「MISSION 1 PRO ILS」を発表しました。

本製品は、GoProならではの小型・堅牢な設計と、撮影目的に応じてレンズを選択できるマイクロフォーサーズシステムの柔軟性を兼ね備えています。アマチュアの映像制作からプロフェッショナル動画制作、さらに最高峰の映画制作に至るまで、マイクロフォーサーズシステムの活用が一層広がることが期待されます。

OMデジタルソリューションズ株式会社は、規格の提案企業として、今後も賛同企業との連携を通じて、規格に準拠した製品ラインアップの拡充を促進し、お客さまの多様なニーズに応えるデジタルイメージングシステムの発展に貢献してまいります。



「MISSION 1 PRO ILS」について

「MISSION 1 PRO ILS」は、GoPro 初のレンズ交換式シネマカメラです。新開発の 50MP の 1.0 型センサーと次世代 GP3 プロセッサーを搭載し、最大 8K60p の動画撮影に対応しています。また、センサー全体を活用する Open Gate 撮影では、最大 8K30p および 4K120p に対応します。

質量約 197g の小型ボディーにマイクロフォーサーズマウントを採用。マクロ、望遠、広角など、撮影目的に応じたマニュアルフォーカスのマイクロフォーサーズレンズを組み合わせることができます。また、アダプターを使用することで、ヴィンテージレンズや PL マウントのシネマレンズ、その他の特殊用途のレンズにも対応します。

10-bitカラー、GP-Log2、HLG HDR動画、タイムコード同期、フォーカスアシスト、フォーカスピーキング、32-bit floatオーディオなど、プロフェッショナルな映像制作を支援する機能も備えています。

「MISSION 1 PRO ILS」は、GoPro.com および世界各地の販売店で販売中です。

対応レンズを含む製品の詳細については、GoPro のウェブサイトをご覧ください。

<https://gopro.com/ja/jp/shop/learn-cameras/mission-1-pro-ils>

GoPro, Inc. (NASDAQ: GPRO) について

GoPro は、人々が自らの体験を、より魅力的かつ没入感のあるかたちで記録・共有することを支援しています。公式 SNS: [Instagram](#)、[YouTube](#)、[TikTok](#)、[Facebook](#)、[X](#)、[LinkedIn](#)、ならびに GoPro ブログ「[The Current](#)」にて GoPro をフォローいただけます。報道関係者の皆様は、公式ロゴおよび画像素材をプレスポータル (brand.gopro.com) よりご入手いただけます。詳細は GoPro.com をご覧ください。

GoPro、MISSION、HERO、MAX、および各ロゴは、米国およびその他の国における GoPro, Inc. の商標または登録商標です。

会社概要:

会社名: GoPro, Inc.

所在地: 米国カリフォルニア州サンマテオ

事業内容: 人々が自らの体験を、より魅力的かつ没入感のあるかたちで記録・共有できる製品・サービスの提供

公式サイト: <https://GoPro.com>

マイクロフォーサーズシステム規格について

規格の概要は、以下のフォーサーズウェブサイトにてご確認ください。

<https://www.four-thirds.org/jp/>

OM デジタルソリューションズ株式会社について

OM デジタルソリューションズは、「世界の人々の心豊かな生活の実現」をミッションに掲げ、多様な価値を創造し社会課題の解決に取り組んでいます。

映像や音声を通じて新しい発見と感動をもたらす「OM SYSTEM」、長年培った技術資産を基盤に産業・学術分野向けソリューションを展開する「OM イノテックス」、そして技術と生産力を活かして光学部品供給、ODM 受託を担う「OM 光学プレジジョン」の3つのビジネスユニットを軸に事業を展開する企業です。

※2020年10月に設立し、オリンパス株式会社の映像事業を継承しています。

コーポレートサイト <https://www.om-digitalsolutions.com/ja/>



本リリースに掲載されている社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

※1 2008 年の発表時点ではオリンパスイメージング株式会社

※2 2008 年の発表時点では松下電器産業株式会社